

令和2年度 施政方針

本日ここに、令和2年城里町議会第1回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、御出席を頂き有難うございます。

今定例会は、令和2年度の当初予算をはじめ重要議案の審議をお願いするにあたり、私の町政に対する所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、令和の幕開けとなった昨年は、自然の猛威を感じさせる年となってしまいました。昨年10月の台風19号は城里町に過去最大の洪水被害をもたらしました。100棟を超える建物が床上浸水し、多くの方が生活の場所を奪われ、貴重な財産や思い出の品を失いました。被災された皆様に心を痛め、お見舞いを申し上げるとともに、すみやかな復旧・復興と地震や洪水による被害の防止に全力であたる所存です。

水害からの復旧・復興については、議会よりお認め頂いた災害復旧・復興予算のすみやかな執行に努めます。主要な道路などの復旧は早期に終わっていますが、特に今後の農繁期に向けて、農作業への影響を与えないよう河川および農地の復旧について、あらゆる手段を尽くしてスピード感を持って進めて参ります。また、住宅など生活基盤に関する被害を受けた皆様に対して支援策がもれなく適用されるように、制度の周知や申請方法の丁寧な説明など、きめ細やかな対応をして参ります。

今後の自然災害による被害を防止・軽減するため、防災行政無線システムの早期整備を図ります。台風19号による全国的な被害を受けて、迅速に避難指示等の防災情報を全ての住民に伝えることの重要性が再認識されました。適切な避難行動が生命と財産への被害の防止・軽減につながるため、総務省は大臣名で防災行政無線戸別受信機の配布を進めるよう各自治体に要請文を発出しております。当要請は当町も受領しており、住民の生命と財産を守るため、今議会におきまして全戸配布を前提とした防災行政無線システム整備に関する工事請負契約について、議会のご承認をお願いするところであります。

一方、新時代令和の幕開けにふさわしい明るいニュースもありました。昨年12月に、高久地区において、アイジー工業が約35億円を投資した新工場が竣工しました。その隣では、フォージテックカワベ社が約14億円を投資して、今年4月の完成を目指して工場の増築を行っています。2社あわせて、約50億円もの設備投資が、この城里町高久地区において行われている

ところでは、これは、茨城県の県央地区でも有数の大規模投資となっています。石塚地区においては、新たにドラッグストアの進出があり、新店舗の建設工事がほぼ完了し、開店を待つばかりとなっています。

工業・商業ともに令和の幕開けにあわせるように大型投資がこの城里町で行われていることは、城里町の魅力・潜在的な発展の可能性を企業が高く評価して下さっていることの一つの証でありましょう。

また、七会町民センター「アツマーレ」を拠点とする水戸ホーリーホックは、過去最高の順位・勝ち点・観客動員を達成し、大きな躍進を見せました。アツマーレで技術を磨いた選手が、日本の A 代表やオリンピック代表にも選ばれ大活躍をしています。廃校であった旧七会中学校が、日本を代表する一流のサッカー選手を育成する場所へと生まれ変わったことは、誇らしいことです。城里町で日本を背負い世界へ羽ばたく人材が育っています。国から助けてもらうばかりではなく、城里町が国全体に対して貢献し、一つの役割を果たしています。水戸ホーリーホックの勢いに負けず、物産センター山桜も好調であり、売上げは過去最高記録を更新し続けています。また、ふれあいの里も、過去最高の売上げ記録を2年連続で更新しているところです。

やれば、できる城里町。まだまだ伸びる、城里町。そんな言葉を毎年申し上げているところですが、今まさに、それを実感しているところです。

さて、令和2年度予算は、一般会計が約125億円となり過去最高規模の予算となりました。これは、数十年に一度しかない環境センター新築工事(約20億円)および衛生センター更新工事(約3億円)が本格化したことによるものです。この2つの工事で合計23億円を計上しておりますので、これを除くと、一般会計予算は102億円となり、平年よりも新規事業を控えた小規模な予算であると言えます。

新規事業を抑えつつも、「未来のための事業」は着実に進めていきます。産業の振興の分野では、「道の駅 かつら」の建て替え事業に着手します。茨城県第1号の道の駅として着実な実績を上げてきました「道の駅 かつら」については、那珂川大橋の架け替えに伴い、数年後には移転することが必要となりました。近年、県内各地で大規模な道の駅の開設が続いており、茨城県における道の駅のパイオニアである「道の駅 かつら」も新時代にふさわしく、他の新しい道の駅に比較して見劣りしない魅力的な施設に生まれ変わらなければなりません。そのために、令和2年度は基本構想及び基本計画の策定に関わる費用を計上しております。

子育て支援の分野では、石塚小学校および常北小学校の放課後児童クラブ施設の新築を進めます。石塚小学校においては施設老朽化の改善、常北小学校においては専用室面積の拡充を図ります。3歳以上の保育料・幼稚園授業料の無償化が浸透し、共働きの家庭の比率がさらに高まる中、放課後児童ク

ラブを利用したい全ての子どもたちに快適な環境を提供することは、未来のために必要な投資であると確信しております。

そのほか、義務教育の分野では昨年度は小中学校全ての教室にエアコンを配備しましたが、今年度は、国が示す GIGA スクール構想に基づいた支援策を活用しつつ、小中学生 1 人 1 台のタブレット端末の配備を目指して、高速通信インターネット環境整備など、情報通信設備の整備を進めます。

インフラ投資も手を抜くことはありません。都市建設・水道・下水道の各分野において、改良工事と修繕工事をあわせて合計約 1 億 4 千万円を投じます。特に学校周辺の道路や河川の整備、老朽化した水道管の更新、増井地区の下水道整備などに重点的な予算配分を行っています。いずれも城里町の未来のため、必要な事業と判断しております。

以上、令和 2 年度における主な政策の概要について御説明申し上げます。

令和 2 年度予算編成については、創意と工夫により財源の確保に努め、昨年行った町政懇談会や各種団体との対話集会等で町民の皆様からお伺いいたしました御意見等についても考慮いたしました。

全体的には健全な財政運営を堅持するため、経費の無駄を省くとともに、限られた財源を「未来のための事業」に重点的かつ効率的に配分いたしました。

令和 2 年度の一般会計予算は、歳入歳出とも別冊予算書のとおり、1 億 2 億 4 千万 257 万 8 千円で前年度当初比 18.3 パーセントの増となっております。

国民健康保険特別会計（事業勘定）について申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度を支える中核的な役割を担っておりますが、医療保険制度を取り巻く情勢は、急速な高齢化や疾病の多様化、医療の高度化等に伴い、医療費の増嵩^{ぞうすう}、加えて高齢者や低所得者の加入割合が高いという構造的な要因により、厳しい財政状況が続いております。

このような状況の中ではありますが、医療費の適正化や国保税の収納率の向上を図り、国民健康保険の安定的運営の確保と保険財政の健全化に努めて参ります。

国民健康保険特別会計（施設勘定）について申し上げます。

施設勘定については、七会診療所に内科・歯科を、沢山診療所に歯科を運営し、へき地及び医療が不足している地域の医療機関として保健医療を担っております。福祉機関と緊密な協力・調整を行い、医療・保険・介護予防等

地域医療の連携を推進し、経営の健全化を図りながら、地域に密着した医療機関として町民に信頼される診療所を目指して参ります。

後期高齢者医療特別会計について申し上げます。

後期高齢者医療制度については、国民健康保険特別会計と同じく、年々医療費の増嵩が見込まれ厳しい財政状況ではありますが、現制度の中で医療給付費の適正化を図り、財政健全化に努めて参ります。

なお、医療給付費の支払及び保険料の賦課は茨城県後期高齢者医療広域連合が行い、町は徴収事務と町民に対する窓口業務を行っております。

介護保険特別会計（保険事業勘定）について申し上げます。

介護保険事業については、公正で公平な要介護認定に基づき、適正で的確な保険給付に努め、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年を見据え、第7期介護保険事業計画を基に、介護予防に重点を置きつつ高齢者福祉施策と一体的に進めて参ります。

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）について申し上げます。

町が直営しています地域包括支援センター業務の中で、介護予防プランを作成し、居宅介護予防支援サービス事業に取り組んで参ります。

公共下水道事業特別会計について申し上げます。

流域下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業については、地方公営企業法の適用を進め、会計の透明化を進めるとともに、広域化を視野にした検討も進め、経営の効率化や普及率の向上を図って参ります。

農業集落排水事業特別会計について申し上げます。

農業集落排水施設は5地区が順調に稼動しております。農業集落排水事業についても、地方公営企業法の適用を進め、会計の透明化を進めるとともに、処理施設の効率的な稼動を目指し、経費の節減に努めて参ります。

水道事業会計について申し上げます。

安全で安心な水の安定供給を図るため、取・導・浄・送配水施設の耐震診断を行い、老朽化した水道施設等の計画的な更新事業を実施するとともに、今後とも公営企業の基本原則を堅持しながら、経営の効率化及び省力化に努めて参ります。

以上、一般会計及び特別会計並びに企業会計の概要について御説明申し上げます。

結びとなりますが、今後とも町民との対話、町民との協働を図りながら、まちの将来像である「人と自然が響きあい ともに輝く住みよいまち」づくりの実現に向け、全力で取り組んで参ります。

議員の皆様並びに町民の皆様におかれましては、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。